

自立支援医療の患者負担の基本的な枠組み

- ① 患者の負担が過大なものとならないよう、所得に応じて1月当たりの負担上限額を設定。(月額総医療費の1割がこれに満たない場合は1割)
- ② 費用が高額な治療を長期にわたり継続しなければならない(重度かつ継続)者、育成医療の中間所得層については、更に軽減措置を実施。

【自己負担上限月額】

所得区分(医療保険の世帯単位)

一定所得以上	市町村民税 235,000円以上(年収約833万円以上)	対 象 外 総医療費の1割 又は高額療養費 (医療保険)の 自己負担限度額	対 象 外	20, 000円
中 間 所 得 2	市町村民税 33,000円以上235,000円未満(年収:約400～833万円未満)		10, 000円	10, 000円
中 間 所 得 1	市町村民税 33,000円未満(年収約290～400万円未満)		5, 000円	5, 000円
低 所 得 2	市町村民税非課税(低所得1を除く)	5, 000円	5, 000円	
低 所 得 1	市町村民税非課税(本人又は障害児の保護者の年収80万円以下)		2, 500円	
生 活 保 護	生活保護世帯		0円	

* 年収については、夫婦+障害者である子の3人世帯の粗い試算

【月額医療費の負担イメージ】 * 医療保険加入者(生活保護世帯を除く)

医療保険(7割)	自立支援医療費 (月額医療費－医療保険－患者負担)	患者負担 (1割又は負担上限額)
----------	------------------------------	---------------------

「重度かつ継続」の範囲

- 疾病、症状等から対象となる者
 - 〔更生・育成〕 腎臓機能・小腸機能・免疫機能・心臓機能障害(心臓移植後の抗免疫療法に限る)・肝臓の機能障害(肝臓移植後の抗免疫療法に限る)の者
 - 〔精神通院〕 ① 統合失調症、躁うつ病・うつ病、てんかん、認知症等の脳機能障害、薬物関連障害(依存症等)の者
 - ② 精神医療に一定以上の経験を有する医師が判断した者
- 疾病等に関わらず、高額な費用負担が継続することから対象となる者
 - 〔更生・育成・精神通院〕 医療保険の多数回該当の者

負担上限月額の経過的特例措置 ※上記の太枠部分

育成医療の中間所得1 2及び「重度かつ継続」の一定所得以上の負担上限月額については、令和6年3月31日までの経過的特例措置